

岩手県立大学 看護学研究科 博士後期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

No	内 容（学生が修了までに身につけるべき能力）
DP1	独創性や発展性のある学術的に有用な看護学研究を自律して行うことができる。
DP2	看護専門職としての高い教育力・研究力・管理能力・看護実践能力を養うことができる。
DP3	新しい看護学の理論構築や看護方法・技術の開発を通して、看護学の知識の蓄積・体系化に寄与できる。

【アセスメントの実施計画】

	項目	方法	時期	対応 DP	結果の活用（公開方法）	実施者
1 年次	入学生アンケート調査	社会人入学者の学修環境 修了後の意向（活動の場など）	5 月	DP2	在学中の院生面談に活かす。修了生アンケート調査に連結できるデータを収集し、分析する	看護学研究科
	特別研究（進捗状況確認）	研究計画検討会の結果	11 月	DP1	研究倫理審査の受審に進める 必要時、副指導教員をおく	
	特論科目（学修成果確認）	修得単位数	2 月	DP1	特論科目の教育方法・教育内容を点検する	看護学研究科
2 年次	特別研究（進捗状況確認）	研究計画検討会の結果	5 月	DP1 DP2	研究倫理審査の受審に進める 必要時、副指導教員をおく	看護学研究科
	（必要時、院生面談）	学修行動、学修環境、休学や長期履修延長の必要性などを確認する	2 月	DP1	必要時、学籍異動を進める 必要時、主指導教員を変更する 研究科教員のハラスメント防止を徹底する	看護学研究科 （主指導教員または看護学研究科長）
3 年次	特別研究（進捗状況確認）	中間発表会の内容 学会発表数や論文投稿数（副論文の準備状況）を確認する	8 月	DP1	特別研究の指導内容、指導体制を点検する	看護学研究科
	博士論文予備審査	予備審査の結果	11 月	DP1	学位論文審査の申請に進める	看護学研究科
	博士論文審査及び最終試験	申請した学位論文、学位論文発表審査会の内容	2 月	DP1	学位論文（最終版）提出を進める	看護学研究科
	特別研究（学修成果確認）	学位論文審査修了判定の結果、修了要件の確認	3 月	DP1 DP2 DP3	公表（公表保留）申請の手続きを進める	看護学研究科
	修了年次アンケート調査	在学中の学修について （DP 到達度の自己評価など）	修了時	DP1 DP2 DP3	教育内容、学修環境、研究指導体制、学位論文の審査基準を点検する	看護学研究科
各年次	院生の動向調査	長期履修者の割合、社会人入学生の割合、休学率、中途退学率 学位の授与数、修業年限内の修了率	毎年度 4 月	DP1 DP2 DP3	社会人入学生の学修サポート体制を検討する など	教育支援室

修了後	既修了生の動向調査	就業場所、職種、職位、大学院 修了資格を活かした活動、 到達した DP に基づく実践内容、 カリキュラムに関する意見	5 年ご と 初回調 査は令 和 5 年 度*	DP1 DP2 DP3	教育内容、研究指導体制を点検す る	看護学研究科
-----	-----------	---	--	-------------	----------------------	--------